日経STOCKリーグ
概要説明
学習教材について

2022年7月9日

日経STOCKリーグ事務局

日経STOCKリーグとは？

累計延べ参加人数
約13万人！

中・高・大学生のための金融・経済学習コンテスト

第23回 日経STOCKリーグ

【主　　催】 日本経済新聞社　　【特別協賛】 野村ホールディングス

チーム（３～５人）を組み、自分達で考えて投資テーマを設定、テーマに沿った株式ポートフォリオを中心とした学習レポートをコンテスト形式で表彰します

＜レポート内容＞
・テーマ設定の意図
・テーマに基づく株式ポートフォリオ
・経済･株式投資について学習したこと
・学習全体を通じて考えたこと　　など

＜学習教材＞
・日経新聞･日経電子版等での情報
・バーチャル株式投資プログラム
・オンライン教材
・野村ホールディングスによる出張授業　など

いずれも無料でご活用いただけます

ここで
日経STOCKリーグについての
ご紹介動画を流します

日経STOCKリーグに参加する意義とは？

➢社会に出る前に、経済や株式の仕組みを理解する

・株式投資本来の意味を理解
・早いうちに経済の仕組みを知ることは、将来のライフプランを考える上でも有意義
・自助努力と自己責任で自分の生活をプランニング

➢自立心を高める

・レポート作成のために、生徒自ら経済・株式投資の学習をし、企業研究を行う
・教室の枠を超えた自発的な学習
・投資テーマを自ら考え、理論構築を行い、創造性を高める

➢協調性・コミュニケーション能力を高める

・チームで1つのレポートを作成することで協調性が養われる
・レポート作成の過程や、一般社会との接点を持つことでのコミュニケーション能力の向上

日経STOCKリーグのコンセプト

学習の進め方

学習の進め方

まなぼうサイト内にある**学習教材**をつかって経済の基本を知ろう。
レポートフォーマット内の「基礎学習」部分をダウンロードし、
わからない言葉があったらどんどん調べてみてください。
日経電子版のキーワード検索で調べるのもよいでしょう。

学習の進め方

日経新聞や日経電子版、NikkeiAsiaなどを使って、最近ニュースなどで話題になっていることや学校の授業で気になったテーマなど、チームとして取り組むべき投資テーマを選定してください。
昨年は学校でアンケートをとったり、専門家や企業に話を聞きに行ったりするチームもありました。

テーマに合わせて銘柄を選びます。10銘柄以上、最大20銘柄とします。

ポートフォリオの構築には最後にご紹介するバーチャル株式投資システムをご活用ください。
チームのポートフォリオの値動きを観察してなぜそのような変化が生じたのかなどチームで議論してみてください。
選んだポートフォリオが実際の投資家に魅力的に見えるかどうかも考えてみるとよいでしょう。

学習教材①学習ガイドブック

学習ガイドブックを活用して学習を通して経済・株式投資の基礎を身につける

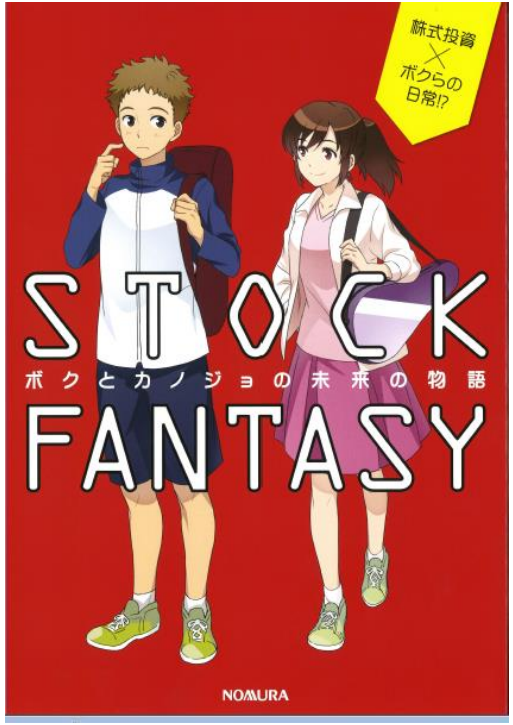
身近な経済や、経済・株式投資の基礎知識が身につきます。投資テーマ選びのポイントやレポート作成のヒントも。

学習教材②STOCKFANTASY

学習テキスト「STOCK　FANTASY」

経済、金融、株式などの仕組みを解説した学習本でわかりやすく学べます。

デジタルダウンロード可能です！

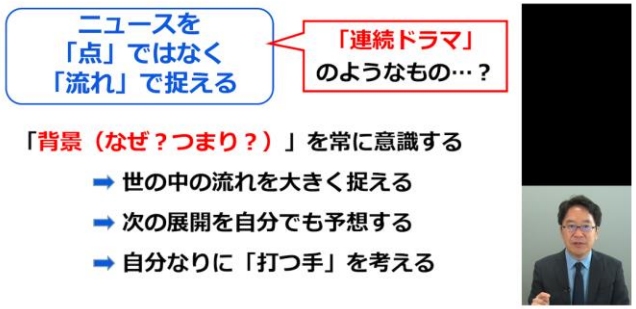


学習教材③日経新聞

日本経済新聞

担当教諭様宛に１部宅配（2022年10月～12月の3ヶ月間）
7月13日(水)以降、事務局よりエントリー済の先生宛に、事前申込みのご案内をメールでお送りします。

New!　★日経新聞　読み方ワンポイントアドバイス（動画コンテンツ）
日経新聞の読み方について、１０分強で学べる、日経STOCKリーグ参加者にむけたオリジナル動画を作成しました。



学習教材④日経電子版

日経電子版

担当教諭様、希望する生徒の皆様全員有料会員サービスを利用可能です。
7月13日(水)以降、事務局よりエントリー済の皆様宛てに、事前申込みのご案内をメールでお送りします。

New!　★効率的な情報収集のために日経電子版を活用する（動画コンテンツ）
日経電子版を日経STOCKリーグ参加者がどう活用すべきか？をまとめたオリジナル動画を作成しました。

【日経電子版】

New！【日経電子版読み方動画】

※利用可能期間は2022年10月1日～23年１月31日の約3ヶ月間です。

学習教材⑤NikkeiAsia

Nikkei Asia

担当教諭様、希望する生徒の皆様全員有料会員サービスを利用可能です。
Nikkei Asiaの「Asia300」でアジアの企業情報をチェックしたり、投資テーマを英語で調べたりとご活用ください。きっと新たな発見があると思います！
7月13日(水)以降、事務局よりエントリー済の皆様宛てに、事前申込みのご案内をメールでお送りします。

★Nikkei　Asiaオリジナル動画

日経STOCKリーグ参加者にむけて、NikkeiAsiaの編集長によるアジア経済の魅力や、NikkeiAsiaの使い方をお伝えする動画をご用意いたしました。是非ご覧ください。

【Nikkei Asia】

【Nikkei Asia活用動画コンテンツ】

※利用可能期間は2022年10月1日～23年１月31日の約3ヶ月間です。

提出物となるレポートについて

3
レポート作成

レポート課題

①レポートフォーマット内「基礎学習」の実施（必須）
②**投資テーマについてや、なぜその銘柄を選んだのか？**
日経STOCKリーグを通して学んだことなどをまとめてください。

レポートの体裁

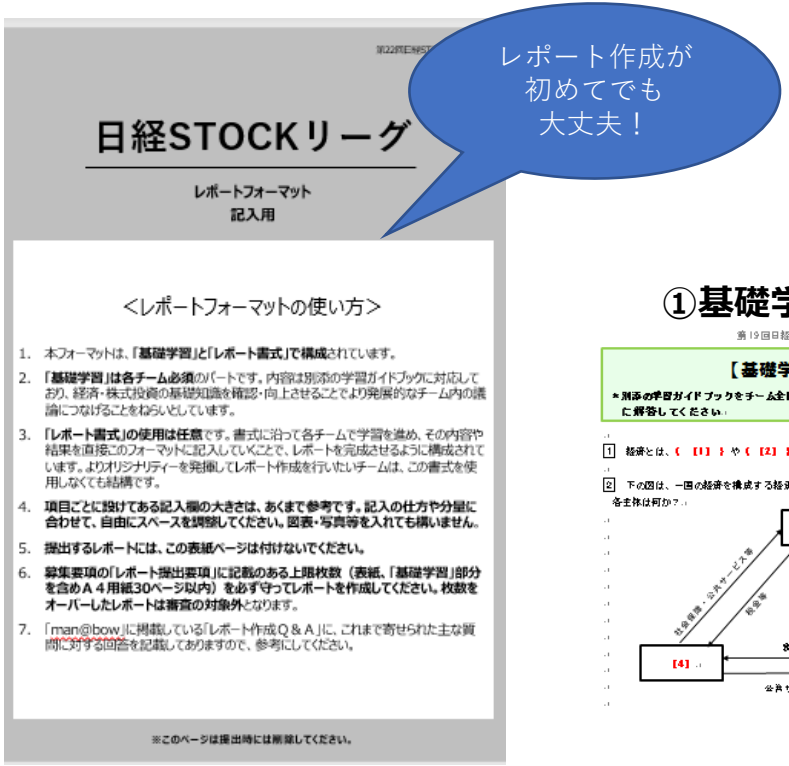
基礎学習と合わせてＡ４用紙３０枚以内（表紙含む。字の級数は10.0pt以上　図やグラフを用いる際は、文字の大きさは視認できる級数にしてください。）レポートの中で取り扱うデータは出典を明記してください。
基礎学習未回答のレポート・上記枚数をこえるレポートは各賞の審査対象から除外となります。
ファイル形式はPDFを推奨。（但し、ワード、エクセル、パワーポイントでも対応致します）

レポート審査のポイント

１．経済や株式投資への理解（※基礎学習を実施していないレポートは対象外です）
２．ポートフォリオの創造性、ユニーク性
３．表現力、文章力
４．学習への熱意、意気込み（アンケート調査や企業へのアプローチを含む）
５．ポートフォリオの理論性、専門性（大学生のみ）

レポートフォーマットも用意

レポートフォーマットを活用して学習を進め、レポートを作成することで経済・株式投資の基礎が身につきます。



日経STOCKリーグ

レポートフォーマット
記入用

＜レポートフォーマットの使い方＞

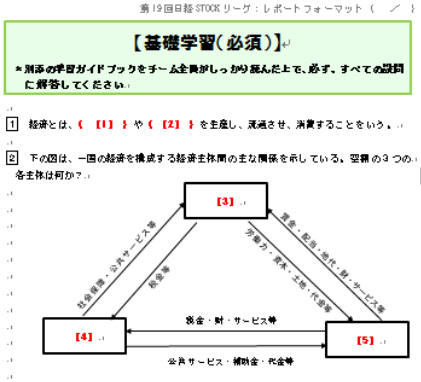
1. 本フォーマットは、「**基礎学習**」と「**レポート書式**」で構成されています。
2. 「**基礎学習**」は各チーム必須のパートです。内容は別添の学習ガイドブックに対応しており、経済・株式投資の基礎知識を確認・向上させることでより発展的なチーム内の議論につなげることをねらいとしています。
3. 「**レポート書式**」の使用は任意です。書式に沿って各チームで学習を進め、その内容や結果を直接このフォーマットに記入していくことで、レポートを完成させるように構成されています。よりオリジナリティーを発揮してレポート作成を行いたいチームは、この書式を使用しなくても結構です。
4. **項目ごとに設けてある記入欄の大きさは、あくまで参考です。記入の仕方や分量に合わせて、自由にスペースを調整してください。図表・写真等を入れても構いません。**
5. **提出するレポートには、この表紙ページは付けないでください。**
6. **募集要項の「レポート提出要項」に記載のある上限枚数（表紙、「基礎学習」部分を含めＡ４用紙30ページ以内）を必ず守ってレポートを作成してください。枚数をオーバーしたレポートは審査の対象外となります。**
7. 「man@bow」に掲載している「レポート作成Ｑ＆Ａ」に、これまで寄せられた主な質問に対する回答を記載してありますので、参考にしてください。

※このページは提出時には削除してください。

レポート作成が
初めてでも
大丈夫！

レポートフォーマットの構成

①基礎学習（必須）



第19回日経STOCKリーグ：レポートフォーマット（　／　）

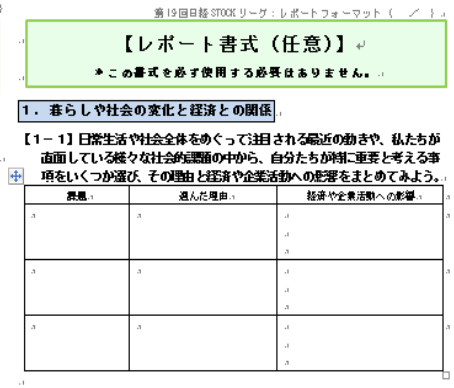
【基礎学習（必須）】

＊別添の学習ガイドブックをチーム全員がしっかり読んだ上で、必ず、すべての設問に解答してください。

1 経済とは、（ [1] ）や（ [2] ）を生産し、流通させ、消費することをいう。

2 下の図は、一国の経済を構成する経済主体間のおな関係を示している。空欄の3つの各主体は何か？

②レポート書式（任意）



第19回日経STOCKリーグ：レポートフォーマット（　／　）

【レポート書式（任意）】

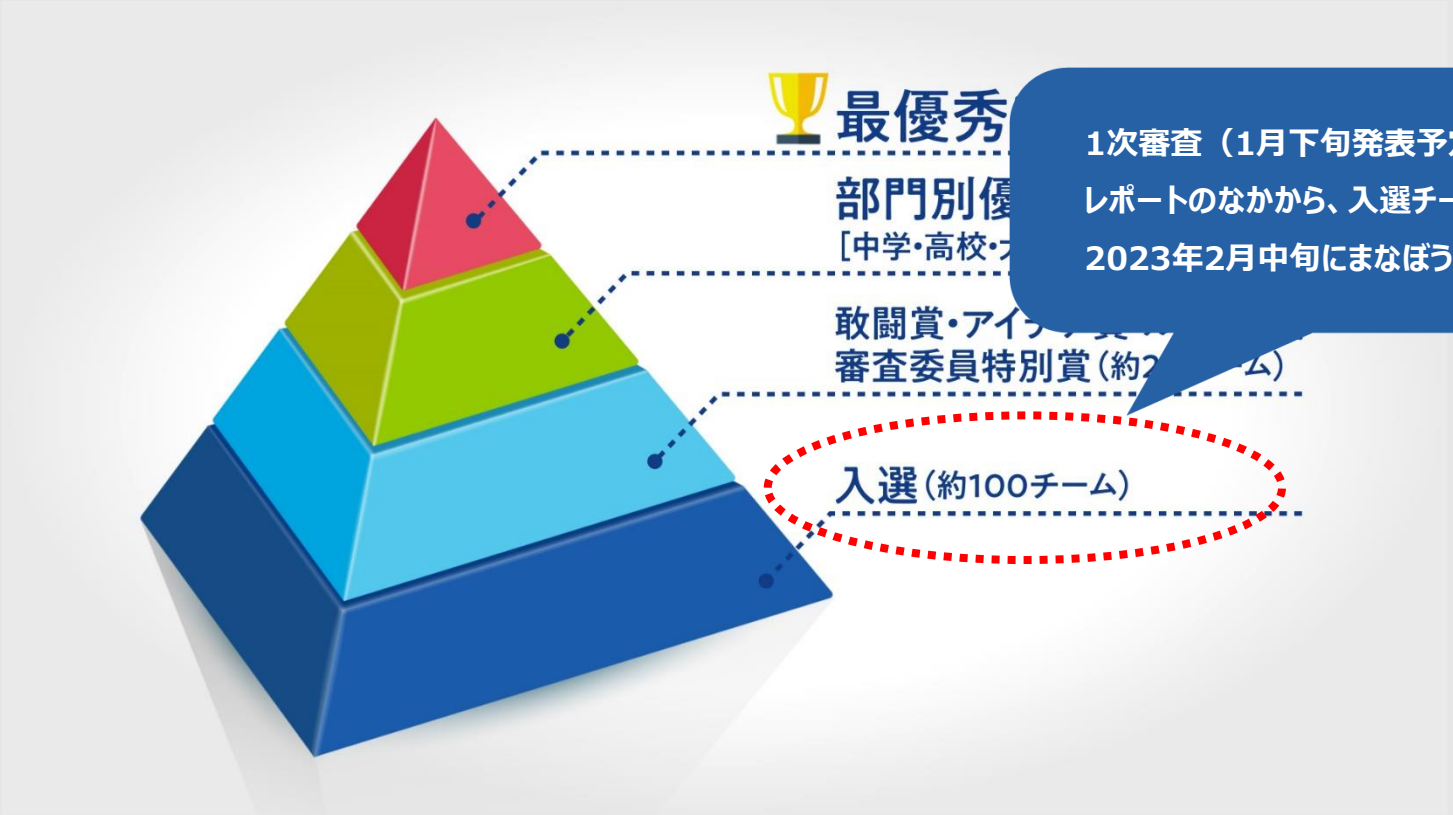
＊この書式を必ず使用する必要はありません。

1．暮らしや社会の変化と経済との関係

【1－1】日常生活や社会全体をめぐって注目される最近の動きや、私たちが直面している様々な社会的課題の中から、自分たちが特に重要と考える事項をいくつか選び、その理由と経済や企業活動への影響をまとめてみよう。

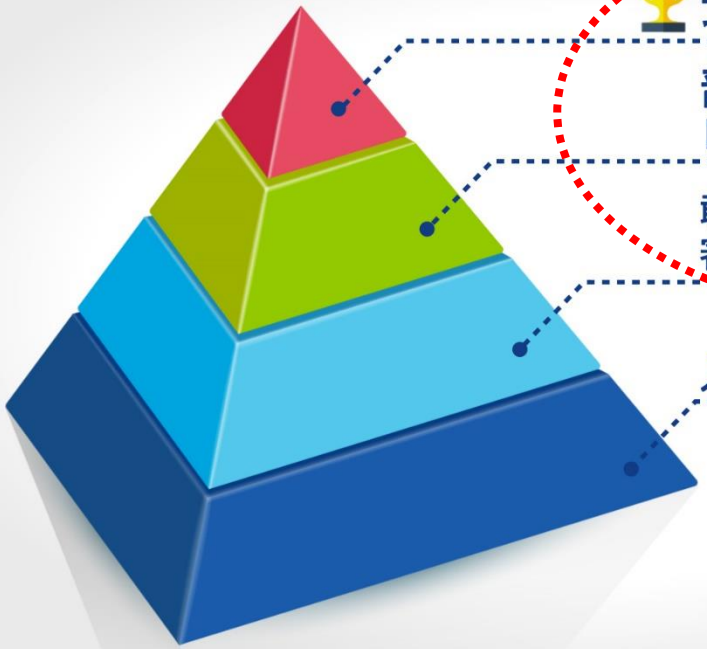
課題	選んだ理由	経済や企業活動への影響

表彰（入選）について



1次審査（1月下旬発表予定）を通過した
レポートのなかから、入選チームは約100チーム！
2023年2月中旬にまなぼうサイトで発表予定です。

表彰（入賞）について



最優秀賞（1チーム）

部門別優秀賞
［中学・高校・大学］（3チーム）

敢闘賞・アイデア賞・ルーキー賞
審査委員特別賞（約20チーム）

入選（約100チ

入選チーム（約100チーム）の中から、最終審査会（2月中旬に実施予定）を経て、

入賞チームが決定します。入賞チームは3月18日（土）予定の表彰式にご招待いたします

表彰（入賞）について

日経STOCKリーグ　表彰各賞

○NEW!　審査委員特別賞

最終審査会での審査員の先生方との議論を通じ、該当チームに贈られます。

中学・高校・大学部門より数チーム選ばれます。

＜副賞＞

中学部門　図書カード1万円分

高校・大学部門　賞金1万円

表彰（入賞）について

日経STOCKリーグ　表彰各賞

○ルーキー賞

参加回数が3回以内の学校に限定して贈られます。

中学・高校・大学部門より数チーム選ばれます。

＜副賞＞

中学部門　図書カード3万円分

高校・大学部門　賞金3万円

表彰（入賞）について

日経STOCKリーグ　表彰各賞

○アイデア賞

特筆すべきテーマや発想に対して贈られます。

中学・高校・大学部門より数チーム選ばれます。

＜副賞＞

中学部門　図書カード3万円分

高校・大学部門　賞金3万円

表彰（入賞）について

日経STOCKリーグ　表彰各賞

○敢闘賞

総合点も加味して優れたレポートのチームに送られます。

中学・高校・大学部門より数チーム選ばれます。

＜副賞＞

中学部門　図書カード5万円分

高校・大学部門　賞金5万円

表彰（入賞）について

日経STOCKリーグ　表彰各賞

○部門優秀賞

中学・高校・大学部門より1チームずつ選ばれます。（合計3チーム）

第22回（前回）は部門優秀賞の3チームへ訪問し、新聞広告用の写真撮影や取材などを実施

＜副賞＞

中学部門　ユニバーサル・スタジオ・ジャパン

または東京ディズニーリゾートにご招待（1泊2日）

高校・大学部門　賞金20万円

表彰（入賞）について

日経STOCKリーグ　表彰各賞

○最優秀賞

全部門より１チームが選ばれます。

第22回（前回）は最優秀賞チームへ訪問し、新聞広告用の写真撮影や取材などを実施

＜副賞＞

チームメンバー全員を海外研修旅行にご招待

（※感染症状況による旨ご了承ください）

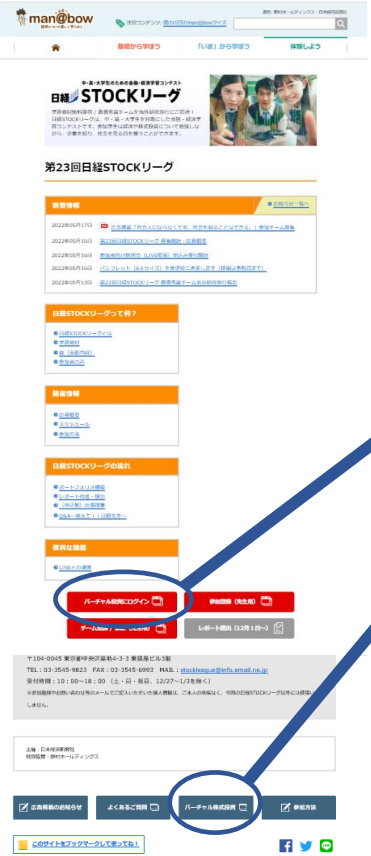
エントリー方法はこちら！

まずは **man@bow**（https://manabow.com/）にアクセス！

①**先生に参加登録を行っていただき**、
②チームを登録してください。
（チームごとにIDとパスワードが発行されます）

※7月下旬にサイトデザイン変更予定のため、見え方が変わる場合があります。

バーチャル株式の体験学習



チームID/
PWを入力！

500万円の仮想資金を元手に株式の売買、ポートフォリオの作成を行い、生きた経済を体感していただきます。

学習の進め方はこちらもご参照ください
☆https://stockleague.nikkei.co.jp/rule/index.aspx?h=index

第23回スケジュール

2022年	6 / 30	エントリー 一次締切
	7 / 9	先生向け説明会【学生の方もご参加いただけます】
	9 / 7	エントリー 最終締切
	10月より	日経電子版、NIKKEI Asia等の購読開始
	10月中旬	オンライン学生交流会
2023年	1 / 10	レポート提出締め切り
	3 / 18	表彰式

参加申し込みとなる、
チームエントリーは9月7日（水）までです。
ぜひ夏休み前に参加いただく生徒さんを募り
エントリーをお願いします！

ご視聴ありがとうございました。
是非たくさんのエントリーをお待ちしています！

2022年7月9日
日経STOCKリーグ事務局